

# 令和3年9月号 (2017 撮影)

## 1. キジバト【雉鳩】 (鳥綱ハト目ハト科キジバト属) (デイパーク大府遊歩道にて)

全長は約 30 cm、オスメスともにあまり変わりません。別名はヤマバトともいいます。よく家の周りでも見かける鳥です。キジバトの名前は、雌のキジに体色が似ているからのようです。「でーでーぽっぽっぼう」という感じで鳴いているのを聞いたことがあるかと思います。日本には主なハトの種類が7種類います。よく公園な



どで見かけるドバト (カワラバト) がいます。これは家畜が野生化したものです。原産地はヨーロッパ、や中央アジア、北アフリカが原産地です。他にカラスバト、キンバト、アオバト、ベニバト、シラコバトがいます。カラスバトは一回り大きな鳩で、絶滅危惧種に指定されています。キンバトは南西諸島のみで生息して、天然記念物に指定されています。アオバトは、中国、台湾、日本のみで生息しています。アオバトと名前がついていますが、緑色が主な色です。ベニバトは渡り鳥で、冬に少数が日本にやってきます。シラコバトは主に関東北東部に生息していますが、数が少なく天然記念物に指定されています。このあたりで見かけるハトは、キジバト、ドバト、アオバト、カラスバトぐらいです。日本では狩猟対象の鳥が28種類います

がキジバトがハトの中では唯一狩猟対象になっています。因みに狩猟対象の鳥は、陸ガモ7種類、海ガモ4種類、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、ニュウナイスズメ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ミヤマカラス、キジ、ヤマドリ、コジュケイ、エゾライチョウ、タシギ、ヤマシギ、カワウ、ゴイサギ、バン、そしてキジバトをいれて28種類が対象になっています。



(県によって規制がかけられている場合もあります。)